

完全制御型植物工場

最新動向とコストダウン方策

植物工場開発 取締役

森 康裕氏



植物の栽培光源に使う発光ダイオード(LED)の特徴として、照射光の波長と小型軽量で熱放射が少ないため、栽培植物の高さに合わせた近接照明が可能で、照明装置をコンパクト化したり、栽培装置をビル状に何層も積み重ねて栽培でき、栽培効率は高くなる。ナトリウムランプや蛍光灯と比べ、寿命も長い。植物工場で最も重要な赤色LEDの寿命は大体10万時

植物工場には夢がある

現在多くの人が注目している。

植物工場の成

連携勉強会の一環であり、「スマートグリッド」の併催イベントとして100人

あまりの参加者が熱心に聞き入った。

栽培に最適なLED開発が課題

植物の栽培光源に使う発光ダイオード(LED)の特徴として、照射光の波長と小型軽量で熱放射が少ないため、栽培植物の高さに合わせた近接照明が可能で、照明装置をコンパクト化したり、栽培装置をビル状に何層も積み重ねて栽培でき、栽培効率は高くなる。ナトリウムランプや蛍光灯と比べ、寿命も長い。植物工場で最も重要な赤色LEDの寿命は大体10万時

植物工場には夢がある

現在多くの人が注目している。

植物工場の成

連携勉強会の一環であり、「スマートグリッド」の併催イベントとして100人

あまりの参加者が熱心に聞き入った。

完全制御型LED工場の実際



スマートグリッドでのセミナー会場

「植物工場の現状と光の最適制御によるコスト低減」

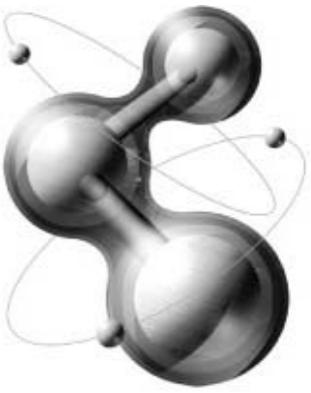
社会開発研究センター理事/同センター植物工場・農商工専門委員会委員長

高辻 正基氏

「植物工場には夢がある」と現在多くの人が注目している。植物工場の成連携勉強会の一環であり、「スマートグリッド」の併催イベントとして100人あまりの参加者が熱心に聞き入った。

植物工場には夢がある」と現在多くの人が注目している。植物工場の成連携勉強会の一環であり、「スマートグリッド」の併催イベントとして100人あまりの参加者が熱心に聞き入った。

モノづくり日本会議は6月1日、社会開発研究センターと日刊工業新聞社と共に東京・有明の東京ビッグサイトで、セミナー「完全制御型植物工場の最新動向とコストダウン方策」を開催した。コーディネーターである石原隆司・連携勉強会の環境であり、「スマートグリッド」の併催イベントとして100人あまりの参加者が熱心に聞き入った。



モノづくり日本会議

—モノづくり推進会議 NextStage—

植物工場普及、15年がターニングポイント

する

こと

が

す

る

こと

が

す